



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月29日

上場会社名 杉本商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9932 URL <https://www.sugi-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉本 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 中根 潤二 (TEL) 06(6538)2661
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	11,170	1.8	276	△26.2	388	△19.0	230	△26.8
2025年3月期第1四半期	10,976	1.2	375	△7.7	480	△14.6	314	△12.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 331百万円(△16.3%) 2025年3月期第1四半期 395百万円(△43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 12.22	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	15.68	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第1四半期	百万円 41,968	百万円 34,126	% 81.3
2025年3月期	42,406	35,485	83.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 34,126百万円 2025年3月期 35,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 —
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」としております。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の1株当たり期末配当金は54円、年間配当金は89円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,180	4.3	925	2.2	1,205	5.2	790	5.8	41.24
通期	51,800	4.7	2,380	△0.7	2,960	1.8	1,935	0.9	101.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	22,798,474株	2025年3月期	22,798,474株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,319,060株	2025年3月期	3,642,260株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	18,866,994株	2025年3月期1Q	20,088,658株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ紛争の長期化や中東情勢の緊迫化に加えて、米国の保護主義的な政策の問題が新たに浮上するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような情勢下において、国内製造業は概ね底堅く推移したものの、設備投資に対しては慎重な姿勢が見受けられました。また、物価上昇に伴う資材価格の高騰により、仕入れコストが増加し、人件費等の上昇も顕著となっております。さらに、少子高齢化を背景とした人材不足が深刻な課題となっており、こうした状況の打開には、デジタル技術を活用した事業変革が急務であると認識しております。

このような環境のもと、当グループは2025年4月25日、株式会社INDUSTRIAL-Xと資本業務提携契約を締結し、生産現場における「ハード×デジタル」の統合ソリューションの提供を通じて、製造業のDX化に貢献してまいります。また、2024年5月に発表した第4次中期経営計画『Start of the next 100 years～変化へチャレンジ』に基づき、変化に強い筋肉質な企業体質への転換を図るとともに、顧客視点を重視した経営を推進し、グループ一丸となって挑戦を続け、当該経営計画の着実な遂行に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高111億70百万円（前年同期比1.8%増）、人件費の増加、本社屋、新基幹システムの減価償却等により経常利益3億88百万円（同19.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億30百万円（同26.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(東部)

東部では、半導体業界の一部で、生成AI関連の高価格帯製品に対する需要が堅調であり、今後も高い成長が見込まれています。また、暑熱対策に関する法令改正を受け、各企業が関連予算を投じる動きも見られました。一方、自動車業界、建設機械業界の輸出においては、米国による相互関税の発表を受けて景気の不透明感が広がり、設備投資の遅延や停滞が見られました。こうした状況の中で、全体としては低調に推移致しました。

この結果、当セグメントの売上高は26億47百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は42百万円（前年同期比54.2%減）となりました。

(中部)

中部では、業種を問わず工場の生産効率化を目的とした設備投資の動きが見られました。しかし、主力産業である自動車業界や、それに関連する金属加工業や部品製造業においては生産が伸び悩み、設備投資が控えめな状況となりました。また、鉄鋼業界、産業機械業界、半導体業界などにおいて、米国の関税措置の動向に対する警戒感が広がり、設備投資の遅延や停滞が見られました。こうした状況の中で、全体としては低調に推移し、増収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は31億83百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は57百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

(西部)

西部では、一部に景気回復の兆しも見られましたが、為替の変動や物価上昇による景気下振れリスクに加え、米国の関税措置の動向に対する警戒感から設備投資を控える動きが見られました。このような状況の中で、全体としては低調に推移し、増収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は49億10百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント利益は1億47百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

(海外)

海外では、アジア地域が概ね安定感を示しており、半導体関連を中心とした一部の産業では堅調に推移致しました。しかし、当社の主力国である中国においては、米中間の摩擦をはじめとする地政学的リスクが輸出に影響を及ぼし、全体的に停滞感が見られました。このような状況の中で、全体としては低調に推移し、増収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4億29百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は29百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は419億68百万円となり前連結会計年度末に比べ4億38百万円減少しております。資産につきましては主に商品が2億79百万円ならびに投資有価証券が11億85百万円増加する一方で、現金及び預金が1億12百万円、受取手形及び売掛金が12億91百万円、電子記録債権が2億53百万円減少したためであります。負債は78億41百万円となり前連結会計年度末に比べ9億19百万円増加しております。これは主に買掛金が6億13百万円、未払法人税等が5億16百万円ならびに未払費用が3億7百万円減少する一方で、短期借入金が20億円、繰延税金負債が1億70百万円増加したためであります。また純資産は341億26百万円となり前連結会計年度末に比べ13億58百万円減少しております。これは主にその他有価証券評価差額金が1億10百万円増加した一方、自己株式の取得に11億63百万円、利益剰余金が2億95百万円減少したためであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,321,054	7,208,108
受取手形及び売掛金	10,922,460	9,630,998
電子記録債権	5,428,440	5,174,535
商品	1,639,666	1,919,425
その他	351,256	223,400
貸倒引当金	△1,571	△1,420
流動資産合計	25,661,307	24,155,047
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,778,950	3,726,424
構築物（純額）	55,692	56,390
車両運搬具（純額）	11,001	9,839
工具、器具及び備品（純額）	70,439	63,123
土地	6,170,872	6,178,956
有形固定資産合計	10,086,958	10,034,735
無形固定資産		
電話加入権	38,894	38,894
ソフトウェア	1,068,381	1,014,423
のれん	240,020	225,619
無形固定資産合計	1,347,295	1,278,937
投資その他の資産		
投資有価証券	4,280,783	5,466,360
出資金	14,860	14,860
退職給付に係る資産	774,000	772,023
差入保証金	223,016	222,537
その他	20,625	25,781
貸倒引当金	△1,960	△2,100
投資その他の資産合計	5,311,325	6,499,463
固定資産合計	16,745,579	17,813,135
資産合計	42,406,886	41,968,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,101,931	3,488,320
短期借入金	—	2,000,000
未払金	320,580	262,289
未払費用	690,172	382,631
未払法人税等	575,075	58,504
未払消費税等	88,577	108,747
その他	55,396	280,092
流動負債合計	5,831,734	6,580,585
固定負債		
長期末払金	125,500	125,500
長期預り保証金	152,851	152,951
退職給付に係る負債	124,827	124,728
繰延税金負債	686,687	857,527
固定負債合計	1,089,865	1,260,706
負債合計	6,921,600	7,841,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,597,406	2,597,406
資本剰余金	2,529,295	2,529,295
利益剰余金	32,307,907	32,012,828
自己株式	△3,933,919	△5,097,874
株主資本合計	33,500,689	32,041,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,831,064	1,941,520
退職給付に係る調整累計額	153,531	143,713
その他の包括利益累計額合計	1,984,596	2,085,233
純資産合計	35,485,286	34,126,890
負債純資産合計	42,406,886	41,968,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,976,400	11,170,441
売上原価	8,862,356	8,997,276
売上総利益	2,114,043	2,173,165
販売費及び一般管理費	1,738,800	1,896,179
営業利益	375,243	276,986
営業外収益		
受取利息	228	886
受取配当金	7,635	11,911
仕入割引	69,630	71,269
不動産賃貸料	29,287	32,091
その他	2,877	11,284
営業外収益合計	109,660	127,443
営業外費用		
支払利息	231	2,016
自己株式取得費用	2,330	10,475
その他	2,153	3,063
営業外費用合計	4,715	15,555
経常利益	480,187	388,873
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,695
特別利益合計	—	4,695
特別損失		
固定資産除売却損	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	480,187	393,561
法人税、住民税及び事業税	52,718	44,055
法人税等調整額	112,556	119,028
法人税等合計	165,275	163,084
四半期純利益	314,912	230,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,912	230,477

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	314,912	230,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,562	110,456
退職給付に係る調整額	△7,782	△9,818
その他の包括利益合計	80,780	100,637
四半期包括利益	395,692	331,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,692	331,114
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	785,371	766,193	915,340	335,648	2,802,553
工作用器具	110,287	267,639	271,655	11,083	660,665
機械器具	782,405	940,574	1,605,673	35,471	3,364,124
空・油圧器具	506,708	537,048	1,167,103	14,992	2,225,852
その他	500,074	572,638	836,984	13,506	1,923,203
顧客との契約から生じる収益	2,684,847	3,084,093	4,796,757	410,701	10,976,400
外部顧客への売上高	2,684,847	3,084,093	4,796,757	410,701	10,976,400
セグメント利益	92,720	82,874	165,708	33,939	375,243

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	692,367	702,731	815,513	326,261	2,536,875
工作用器具	80,342	240,168	302,553	12,637	635,701
機械器具	818,561	932,583	1,626,602	42,879	3,420,626
空・油圧器具	565,104	590,120	1,198,382	28,882	2,382,489
その他	491,173	718,117	967,044	18,413	2,194,749
顧客との契約から生じる収益	2,647,548	3,183,722	4,910,096	429,074	11,170,441
外部顧客への売上高	2,647,548	3,183,722	4,910,096	429,074	11,170,441
セグメント利益	42,513	57,537	147,468	29,466	276,986

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	66,715千円	134,237千円
のれんの償却額	14,401千円	14,401千円